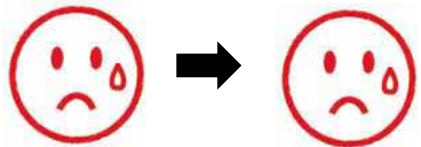


建設業

回答率：100% (25/25)

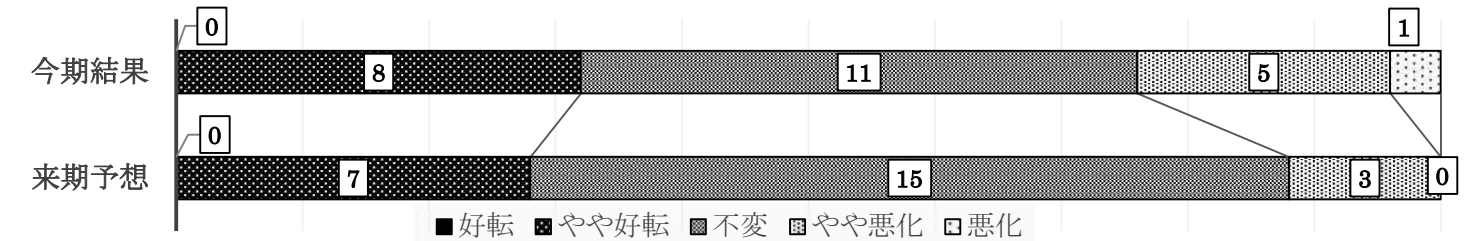
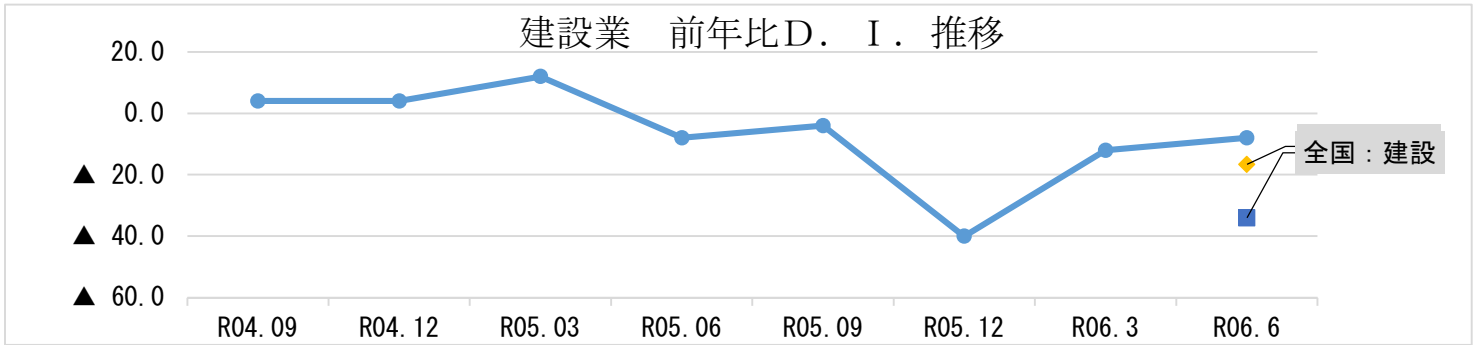


今期 見通し



■丹波市の景況推移

資材高騰、諸経費等の物価高騰の影響により利益確保が難しい状況が続いている。マンパワー不足で工事の受注にも限界がある半面、公共工事が少なく従業員維持の為の仕事確保も難しい状況が続くと想定される。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

公共工事が例年より少なく、昨年と比べ非常に売上が減少しており、利益率も減少している。又、建築部門では部材の値上げで新築価格が上がり、着工件数が減少傾向にある。下請け工事件数もこれに伴い減少傾向。仕事があっても、見積もり競争が激しく利益確保が難しい状況が続いている。

【丹波市の来期の景況予想】

9月から資材値上げの話があり、利益確保について、今後も厳しい状況が続くと見込まれる。暑さが厳しくエアコン工事の数は増えるが現場のマンパワー不足で受けられる工事にも限界がある。

■全国の景気動向

建設資材の高騰、土地価格の高止まりが起因する新築住宅の買い控えと新築住宅着工数の減少による影響がある。北海道新幹線、北陸新幹線の延伸工事による観光需要に加え、インバウンド需要および能登半島地震による復興需要がある。大型物件の稼働により、人手不足の問題が生じている。

■県下の景気動向

業況DIは改善傾向にあるが、資材等価格高騰が続く、上昇分の価格転嫁が追い付かず、採算の悪化を招いている。建築資材が入手困難であり、工期が延長し、人件費等のコストが増加し収益確保が難しい状況となっている。

■地区ごとの回答（前年同期比）

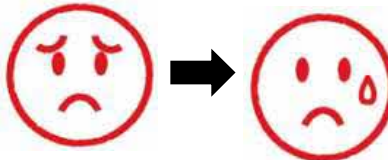
	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	2	2	1	0	1	0	6	24.0%
不変	1	7	0	1	1	1	11	44.0%
悪い (悪化+やや悪化)	0	3	0	3	1	1	8	32.0%
合計	3	12	1	4	3	2	25	100.0%

製造業

回答率：100% (25/25)

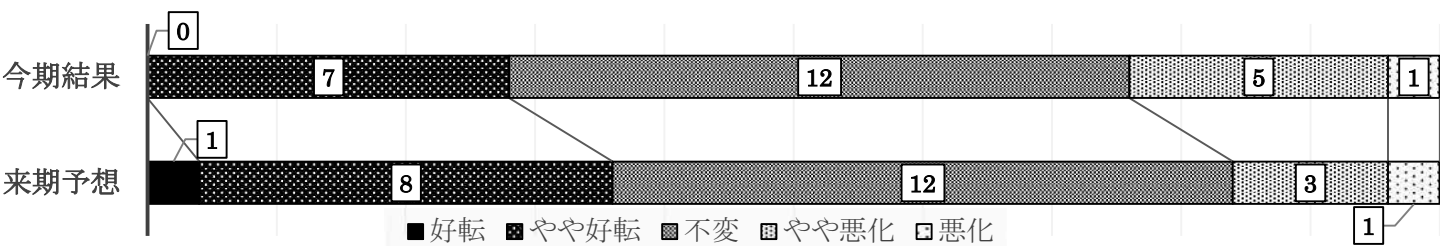
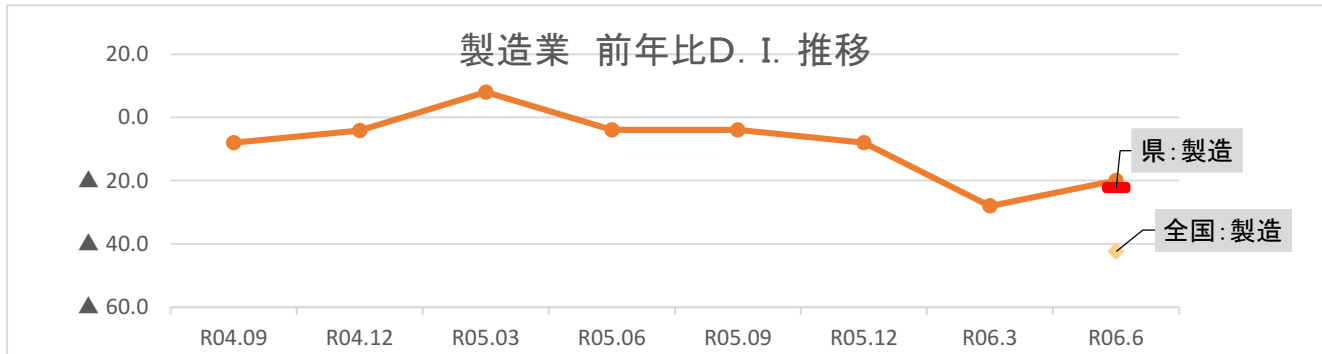
2024年4月～6月期調査

今期 見通し



■丹波市の景況推移

県・全国平均よりプラス方向へ改善され、当初見通し（悪い）より今期は持ち直しているが、各種費用の高騰により資金繰りに影響が出ており、経費の節減や販路開拓も必要だが、加工賃等の収益改善が必須であると考えている。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

自動車部品はメーカーの不正認証問題が尾を引き受注減と回答する企業がある一方、納期の不安定さや為替レート変動を嫌って海外生産から国内工場への回帰を図りたいメーカーより受注が集中すると回答する企業もあり、二極化している。いずれも原材料、経費（人件費含む）の高騰を価格転嫁できていない状況にあり、収益・資金繰りに影響が出ている。それでも前回調査より前年比DIについては好転していると回答する企業が増えている。

【丹波市の来期の景況予想】

受注減となっている製品（縫製）以外は受注量をキープ、もしくは増加しているとして、今期より好転が見込まれると回答する企業が増えている。依然全体のDI値はマイナスのままだが、売上高・収益DIについては3月調査時を上回る改善予想となっている。

■全国の景気動向

売上額自体は増加するも原材料の高騰が続く、特に食品関連は価格転嫁が追い付かない状況である。機械設備関連は円安の影響で海外受注が増え、民間の設備投資需要が増加しているが、原材料の調達難度（価格・納期）とエネルギーコスト上昇で経費が増加し、採算性と資金繰りが悪化している。

■県下の景気動向

前回調査と比較して業況・売上額・収益DI全てが悪化しており、販売価格は上昇しているものの収益が圧迫されているため資金繰りに影響が出ている。経営上の問題点に「人手不足」を挙げる企業は多いが、受注減に伴い人手が充足し、残業時間が減少していると回答する企業の増加が認められ、単純な人員数ではなく生産性の高い年齢層の減少を問題視している企業が多いものと思われる。当面の重点経営施策の1位に経費節減が挙げられている。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	0	2	0	1	0	3	12.0%
不変	2	3	1	3	0	2	11	44.0%
悪い (悪化+やや悪化)	0	6	2	0	2	1	11	44.0%
合計	2	9	5	3	3	3	25	100.0%

小売、卸売業

回答率：100%（25/25）



良い やや良い 普通 少し悪い やや悪い 悪い

今期

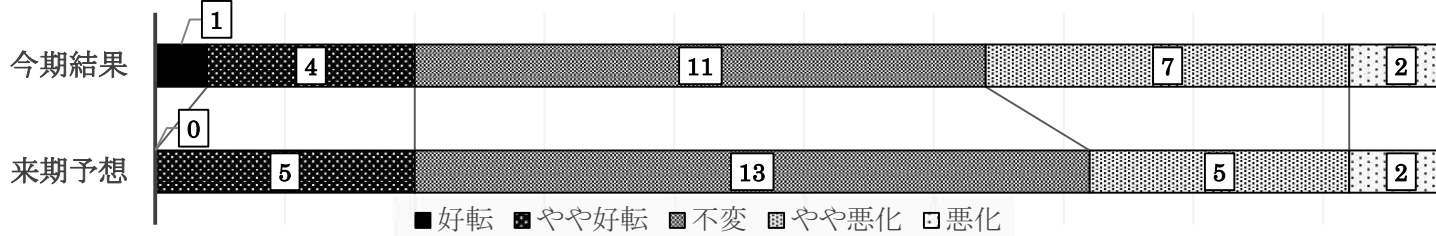
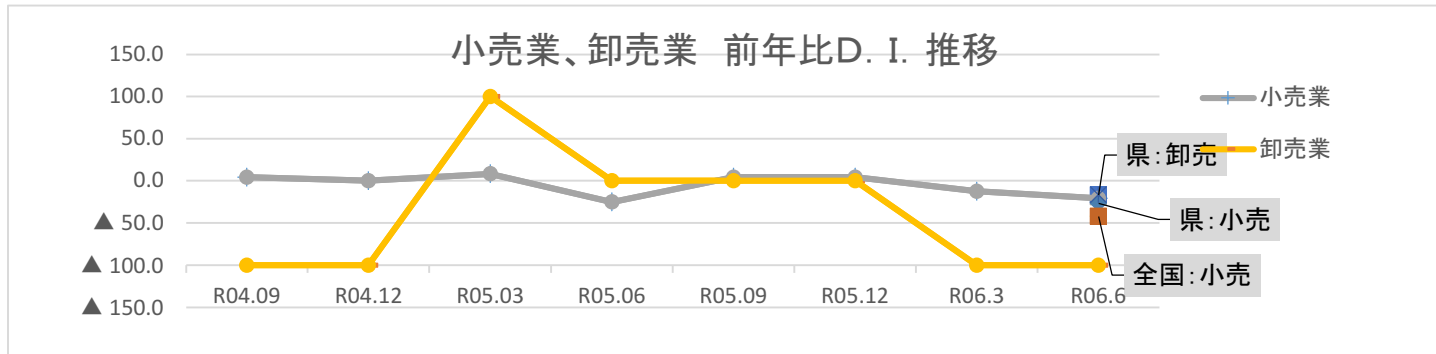


見通し



■丹波市の景況推移

夏の猛暑の影響もあり、お客様の来店数も減少傾向にある。仕入価格、経費高騰の影響により、業界全体としてもこれまでに経験したこともないほど厳しい状況が続いている。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

夏の猛暑の影響もあり、お客様の来店数も減少傾向にある。業界全体としてもこれまでに経験したこともないほど厳しい状況が続いている。衣料品関連では、コロナが明けたものの物価高騰の影響により消費者は節約傾向にある。食品小売業では、コロナ禍に比べると売上、来店数が減少しており、内食から外食へとシフトしている様に感じる。

【丹波市の来期の景況予想】

海外からの輸入商品を扱っているところでは円安の影響や、人件費、物価高騰の影響により利益確保が難しい状況が続くことが予想されまだまだ材料関係の値上げが続く見込みである。しかし一方で、お中元商戦で挽回が期待できそうな業種もある。

■全国の景気動向

衣料品関連は、売上DIが改善と好調も、顧客離れを恐れ、仕入価格上昇分を価格転嫁できずに、資金繰り、業況は悪化となった。食料品関連は、売上額がプラス水準となるも、買い控えや顧客の流出を恐れ、価格転嫁に踏み込めずに資金繰りは直近1年間で最も悪化幅が大きく水準も低い。耐久消費財は、自動車・エアコンなどの需要はあるものの、供給不足が慢性化しており十分に対応できていない。

■県下の景気動向

衣料品小売業では仕入は既に値上げ済みで、資金繰りも仕入数量を制限している。食料品小売業は物価高の影響で、価格競争に巻き込まれ大手に太刀打ちできない。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	1	0	1	1	0	4	16.0%
不変	2	5	0	1	1	2	11	44.0%
悪い (悪化+やや悪化)	3	3	1	2	1	0	10	40.0%
合計	6	9	1	4	3	2	25	100.0%

飲食・宿泊、サービス、その他業種

回答率：100%（25/25）

2024年4月～6月期調査

今期

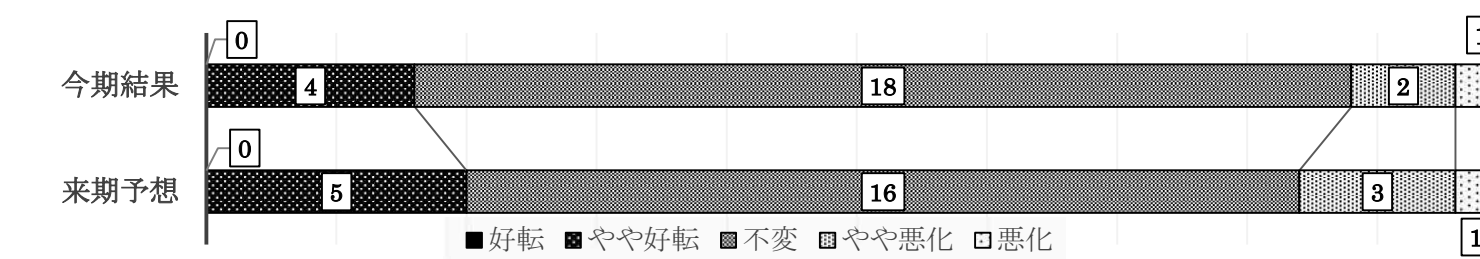
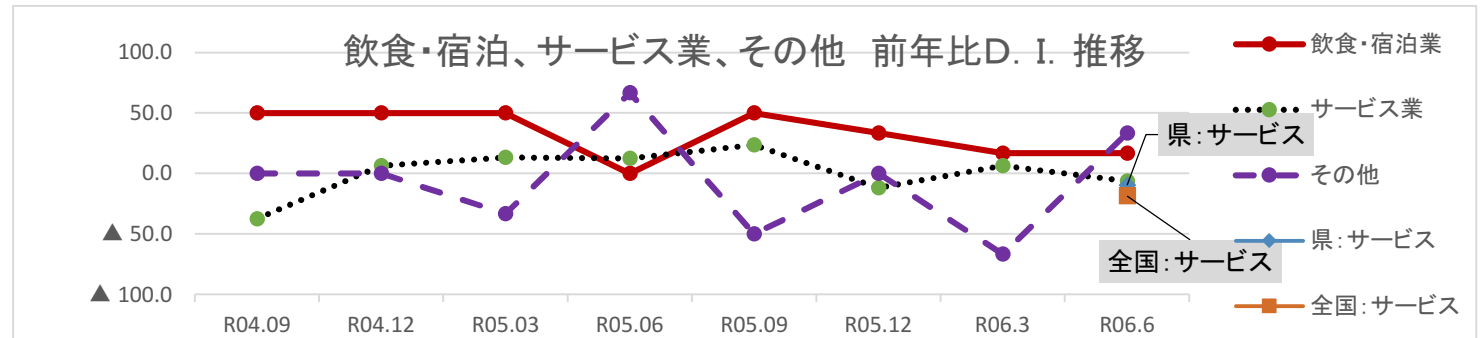


見通し



■丹波市の景況推移

飲食業では夜のお客様は減少のまま。昼間、土日は売上が増加傾向にあるものの、サービス業全体で材料・光熱費等高騰の影響が大きい。美容関連の事業所増加の一方で、コロナ禍以後、来店頻度は減少傾向。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

原材料の仕入れ等のある業種については、物価高騰等の影響で利益は減少傾向にある。値上げの措置自体が物価高騰に追いついておらず、材料以外にも人件費や燃料費の上昇など、プラス要因がなかなか見当たらない状況。一方で原材料費の掛からない理美容等の業種については、利益は比較的安定している。

【丹波市の来期の景況予想】

物価高騰や円安、また今年の猛暑などの影響により、需要の減少が懸念される。特に丹波市は都市部と比べてもインバウンド需要の恩恵を受けにくく、先行きは不透明である。

■全国の景気動向

全国的に見ても物価高騰が商売に多大な影響を与えており、利益悪化による資金繰りの悪化、廃業等も増えてきている。また、需要は増えていても、慢性的な人手不足により機会損失に繋がっているケースも増えている。一部の観光地を中心にインバウンド需要は大幅に増加している。

■県下の景気動向

全体的に売上利益ともに伸びていない。全国同様に物価高騰、人手不足もあり、県下商工会の状況も丹波市と変わらず、厳しい状況が続いている。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	5	1	0	1	0	7	28.0%
不変	3	2	1	4	1	1	12	48.0%
悪い (悪化+やや悪化)	2	1	2	0	1	0	6	24.0%
合計	5	8	4	4	3	1	25	100.0%